

TantoCuore たんとかおーれ

増築開始♪

説明書

■0. ゲームの概要

本ゲーム「たんとかおーれ～増築開始♪～」は、「たんとかおーれ」の続編にあたるセットで、2～4人用「デッキ型カードゲーム」です。

「たんとかおーれ～増築開始♪～」単独で遊ぶことも、「たんとかおーれ」と「たんとかおーれ～増築開始♪～」を混ぜて遊ぶこともできます。

プレイヤーたちは、“ご主人様”となり、かわいいメイドさんたちをたくさん雇用し、彼女たちにご奉仕させながら自分の屋敷（デッキ）を充実させていきます。

ゲーム終了時に、自分の屋敷（デッキ）にいるメイドカードがもたらす勝利点（VP）と、今回新たに追加された「建築カード」がもたらす勝利点（VP）を一番多く獲得したプレイヤーが“最高のご主人様”としてゲームに勝利します。

めざせ、メイドさんのハーレム！

■1. ゲームのコンポーネント

本ゲームには、この説明書と、次のカード（合計 279 枚）が含まれています。

●メイドカード（199 枚）

- ・メイド長（32 枚）
- ・一般メイド（158 枚）
- ・専属メイド（9 枚）

●建築カード（24 枚）

●はあとカード（56 枚）

カード上の表記とルール

カード上のいくつかの記号は、説明書上、次のような文字で表現していますが、どちらも同じ意味を表しています。

 +1 = 【ご奉仕+1】

 +1 = 【ドロー+1】

 +1 = 【はあと+1】

 +1 = 【雇用+1】

■2. ゲームの準備

プレイヤーは、車座になって座ります。テーブルの中央は、ゲームに使用する主要なカードを並べておくスペースで、ここを「施設」と呼びます。また、各プレイヤーのすぐ前のスペースは、プレイヤーが自分のデッキや、プレイしたカードを置く場所です。それを各プレイヤーの「家」と呼びます。

まずカードのうち、「メイド長」2種類（『クローディーヌ・ド・ラ・ロシェル』『アリーヌ・デュ・ロワ』）をそれぞれひとまとめにして山札とし、横に並べます。

次に、その隣に「建築カード」3種類（『庭園』『離れ』『百合園』）をそれぞれひとまとめにして山札とし、横に並べます。

さらに、10種類の「一般メイド」の山札を5山×2列にして作り、その手前に並べます。

これらは全て表向きの山札として配置します。

このゲームには16種類の「一般メイド」が含まれていますが、各ゲームではその中から10種類を選んで使用します。使用しない「一般メイド」は、箱にしまっておきます。使用する「一般メイド」の種類は、任意に選んでも、ランダムに選んでもかまいません。

なお、初めてこのゲームで遊ぶ方は、次の組み合わせをお勧めいたします。

初めて遊ぶ時にお勧めの「一般メイド」の組み合わせ

ティファニー・ワイズ	カリヨン・ファンドール
アマレット・ルナール	エミリー・レイモンド
ルチル・デル＝サール	フィリス・ラムレイ
ライラック・ホークウインド	フェリシティー・ホーン
スズナ・カミカワ	リリコ・ヒイラギ

続いて、「メイド長」の山札の左側に、『はあと1』『はあと2』『はあと3』をそれぞれひとまとめにし、表向きの山札として縦に並べます。

そして、「専属メイド」をひとまとめにしてシャッフルし、『建築カード』の山札の右側に、裏向きの山札として配置します。それから、「専属メイド」の山札の上から2枚めくって、それらをその手前に縦に並べます。

右の図を参考にしてください。

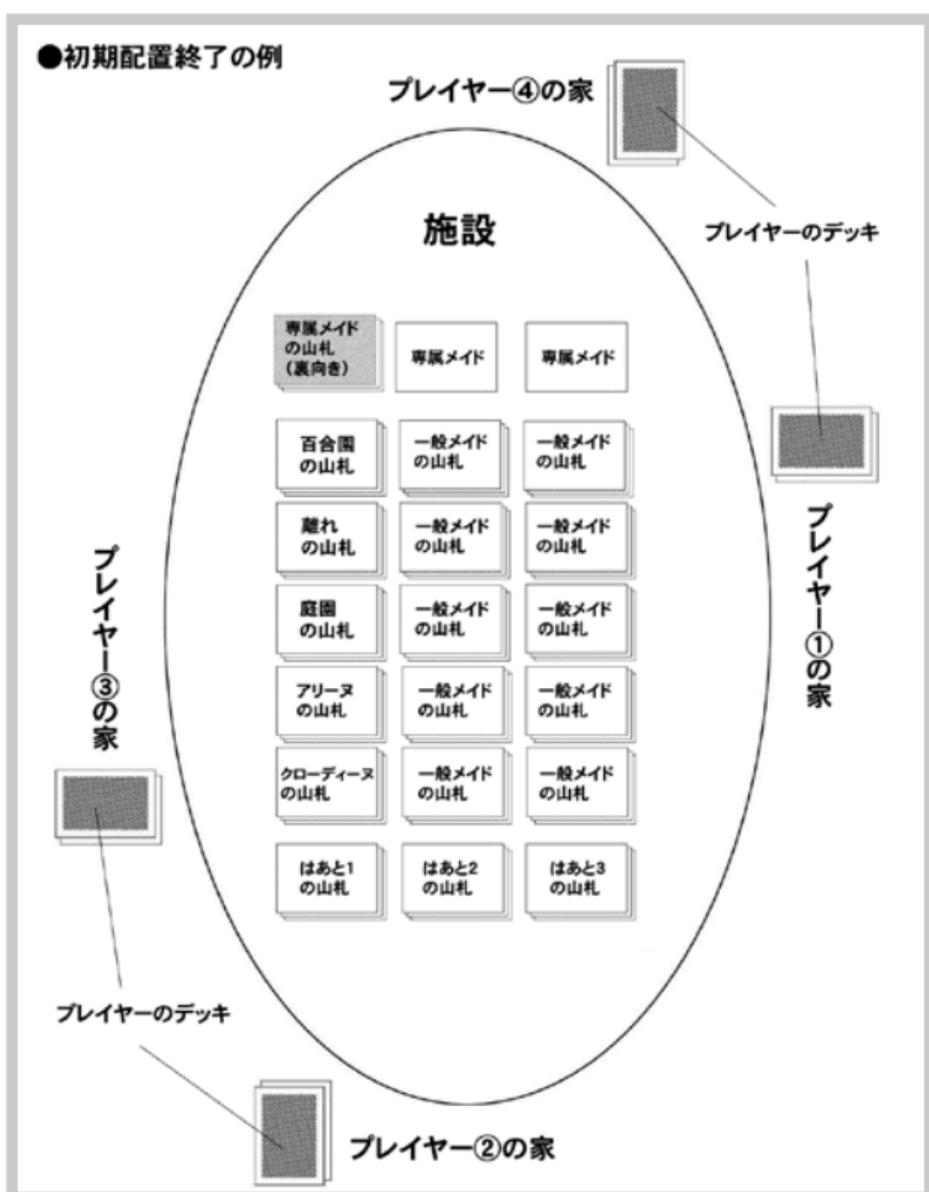
これで施設の山札の準備は終了です。

各プレイヤーは、『アリーヌ』の山札から3枚、『はあと1』の山札から7枚を手に取ります。その10枚をよくシャッフルし、自分の「デッキ」として裏向きで自分の家に置きます。

それから、各プレイヤーは自分のデッキの上から5枚を引いて手札に加えます。これが最初の自分の手札となります。なお、こうして自分のデッキの上からカードを引いて手札に加えることを「ドロー」といいます。

最後に、じゃんけん等で最初にプレイするプレイヤーを決めます。これでゲームの準備が整いました。

重要：施設に置かれた山札のことを「施設の山札」、自分の家に置かれたデッキのことを「自分のデッキ」と呼びます。



注：このゲームでは、「メイド長」「一般メイド」「専属メイド」の3種類を総称してメイドカードと言います。

■3. ゲームの流れ

このゲームは、各プレイヤーが順番に手番を実行することで進んでいきます。ゲームの準備が終わったら、最初のプレイヤーがまず手番を行います。各手番は次の4つのフェイズに分かれています。手番プレイヤーは各フェイズを順番に実行していきます。各フェイズの手順については、後述します。

- 1) 開始フェイズ
- 2) ご奉仕フェイズ
- 3) 雇用フェイズ
- 4) 終了フェイズ

手番プレイヤーがこの4つのフェイズを実行し終わったら、その左隣のプレイヤーが新たな手番プレイヤーとなり、同様に手番を実行します。こうして、手番はプレイヤー間を時計回りでめぐります。

ゲームの終了条件が満たされるまで、これを続けます。

■4. カードの見方と使い方

この章では、カードに記載されているデータを説明します。

●メイドカード(「メイド長」「一般メイド」「専属メイド」)

手番プレイヤーは、ご奉仕フェイズに手札のメイドカードをプレイすることができます。メイドカード1枚をプレイするためには、プレイコストとして【ご奉仕1】を消費する必要があります。

後述しますが、手番プレイヤーは、開始フェイズに【ご奉仕1】を必ず受け取りますので、手番中に少なくとも1枚のメイドカードをプレイすることができます。



メイドカードがプレイされたら、プレイヤーはそのカードテキストに記されている特殊能力の指示にしたがってください。また、手番プレイヤーは、プレイされたメイドカードに記載されているボーナス（【ご奉仕】【ドロー】【はあと】【雇用】など）を受け取ります。

例えば、このボーナスに【ご奉仕+2】が含まれていたなら、手番プレイヤーは、同じ手番のご奉仕フェイズ中にそれによって得た【ご奉仕2】を全て消費するまで、追加のメイドカードをプレイすることができます。

消費した【ご奉仕】はすぐに消滅します。消費しなかった【ご奉仕】は雇用フェイズ開始時に消滅します（次の手番に持ち越せません）。

①肩書き

メイドの種類を示しています。

②カード名

③雇用コスト

このカードを雇用するために必要な【はあと】の量を示しています。

④勝利点（VP）

⑤ボーナス：【ドロー】

カードをプレイした時、手番プレイヤーは、ここに記されている数字分だけ、ただちにカードをドローします。

⑥ボーナス：【はあと】

カードをプレイした時、手番プレイヤーは、ここに記されている数字分だけ【はあと】を受け取ります。手番プレイヤーは、こうして受け取った【はあと】を同じ手番中の雇用フェイズに使用することができます。

⑦ボーナス：【ご奉仕】

カードをプレイした時、手番プレイヤーは、ここに記されている数字分だけ【ご奉仕】を受け取ります。手番プレイヤーは、こうして受け取った【ご奉仕】を同じ手番中のご奉仕フェイズに使用することができます。

⑧ボーナス：【雇用】

カードをプレイした時、手番プレイヤーは、ここに記されている数字分だけ【雇用】を受け取ります。手番プレイヤーは、こうして受け取った【雇用】を同じ手番中の雇用フェイズに使用することができます。

⑨カードのカテゴリー

⑩カードテキスト

このカードをプレイした時、あるいはここに記されたタイミングで、手番プレイヤーは、ここに記された特殊効果を適用します。

⑪フレーバーテキスト

このカードに描かれているメイドの台詞が書かれています。ゲームのプレイヤールールには関係しません。

●はあとカード

「はあとカード」は、他のカードを【雇用】する（施設にあるカードを自分の捨て山に移して自分のデッキを充実させる）のに役立つカードです。手番プレイヤーは、雇用フェイズに手札にある「はあとカード」を何枚でもプレイし、【はあと】を受け取ることができます。「はあとカード」のプレイには、メイドカードのようにプレイコストは必要ありません（「はあとカード」を雇用するときは雇用コストは必要です）。

「はあとカード」をプレイした時、手番プレイヤーは、『はあと1』なら【はあと+1】を、『はあと2』なら【はあと+2】を、『はあと3』なら【はあと+3】を受け取ります。手番プレイヤーは受け取った【はあと】を消費して、雇用フェイズに【雇用】を行うことができます。

消費した【はあと】はすぐに消滅します。消費しなかった【はあと】は終了フェイズに消滅します（次の手番に持ち越せません）。

①カード名

②雇用コスト

このカードを【雇用】するために必要な【はあと】の量を示しています。



●建築カード

「建築カード」は、ゲームに変化を与えるカードで、施設の山札の中に用意されています。手番プレイヤーが「建築カード」を【雇用】した場合、そのカードを自分の捨て山に置くのではなく、自分の家に置きます。「建築カード」には、『庭園』『離れ』『百合園』の3種類があります。

①カード名

②雇用コスト

このカードを【雇用】するために必要な【はあと】の量を示しています。

③勝利点 (VP)

④カードテキスト

このカードを【雇用】したとき、または指示されたタイミングに適用する特殊能力を示しています。



■5. ゲームの詳細

手番プレイヤーが、各フェイズに実行する手順は次のとおりです。

●5-1 開始フェイズ

手番プレイヤーはまず、自分の家に置かれている「専属メイド」を確認します（第1弾と混ぜて遊ぶ場合は、『病氣』も確認します）。

もし、「専属メイド」が置かれている場合、そのカードのもつ特殊能力が、その手番中に1回だけ適用されます。適用されるタイミングはカードに記されている指示にしたがってください。

●5-2 ご奉仕フェイズ

手番プレイヤーは、ご奉仕フェイズの開始時に、【ご奉仕1】を受け取ります。

手番プレイヤーは、このフェイズ中に受け取った【ご奉仕】を消費して、手札にあるメイドカードをプレイすることができます。特に指示がない限り、通常、メイドカードを1枚プレイするのに必要な【ご奉仕】は【ご奉仕1】です。

このため手番プレイヤーは、望むなら1回の手番に少なくとも手札にあるメイドカード1枚をプレイすることができます。

プレイしたメイドカードは自分の家に置いて公開し、アイコンで記されているボーナスを受け取ります。ボーナスには、【ご奉仕】【ドロー】【はあと】【雇用】の4種類あります。このうち【ドロー】については、ただちに消費して、デッキから適切な枚数のカードをドローしなければなりません。プレイヤーは【ドロー】を受け取ったなら、他のいかなる行動も起こす前に、また、【ドロー】をもたらししたメイドカードの特殊能力すら発揮される前に処理しなければなりません。

いっぽう、【ご奉仕】については、このフェイズ中に消費することができます。また、【はあと】や【雇用】については、続く雇用フェイズに消費することができます。消費せずに残ったこれらのボーナスは、次の手番に持ち越すことはできません。

その後、カードテキストに記されている特殊能力を適用します。カードの指示にしたがってください。

なお、【ドロー】により増えた手札は、その後ただちにプレイすることもできます。そのため、手番プレイヤーは同じフェイズ中に複数のメイドカードをプレイできることもあります。

プレイしたメイドカードは、終了フェイズに捨てます（自分のデッキのわきに捨てます。そこを「捨て山」と呼びます）ので、それまで公開したままにしておきます。ただし、「そば仕えメイド」と「そば仕えメイド長」を「そば仕え」でプレイした場合は、自分の家に置いたままにしておきます（●6-1参照）。

手番プレイヤーが手札のメイドカードをプレイしきったか、プレイできなくなったとき、あるいはプレイする意思がなくなったなら、ご奉仕フェイズは終了し、雇用フェイズに移ります。

●5-3 雇用フェイズ

手番プレイヤーは、雇用フェイズの開始時に、【雇用1】を受け取ります。

手番プレイヤーは、このフェイズ中に、受け取った【雇用】と【はあと】を消費して、【雇用】を実行することができます。

【雇用1】を消費することで、【雇用】を1回実行できます。【雇用】を実行するときには、施設にあるいずれかの山札からカードを1枚選んで取ります。取ったカードは通常、自分の捨て山に移します。ただし、「専属メイド」と「建築カード」を取った場合は、自分の捨て山には移しません(●7-1参照)。

手番プレイヤーはまた、施設の山札から取る際に、カードの左上に記されている数字分の【はあと】を消費する必要がありますので注意してください。

手番プレイヤーは、このフェイズ中、手札から自由に「はあとカード」をプレイして【はあと】を受け取ることができます。プレイした「はあとカード」は、特に指示のない限り、終了フェイズまで公開したままにしておきます。

手番プレイヤーは、直前のご奉仕フェイズにボーナスとして受け取った【雇用】と【はあと】を、このフェイズで消費することができます。そのため、手番プレイヤーは、【雇用】と【はあと】が残っている限り、1フェイズ中に何回でも【雇用】を実行することができます。

手番プレイヤーが、受け取っている【雇用】や【はあと】を消費しきったか、もう消費できなくなったとき、あるいはもう消費する意思がなくなったなら、雇用フェイズは終了し、終了フェイズに移ります。

●5-4 終了フェイズ

手番プレイヤーは、終了フェイズ開始時に、この手番中にプレイしたカードを全て捨てます(例外:「そば仕え」●6-2参照)。

次に、プレイせずに手札に残ったカードを全て捨てます。

その後、自分のデッキから5枚ドローします。

このときもし、デッキが途中でなくなった場合、捨て山をひとまとめにして裏向きのままシャッフルし、新たなデッキとしてドローを続行してください。

注意：自分のデッキを作り直すタイミング

新たにデッキを作り直すタイミングは、デッキがなくなっている状態で、そのデッキからドローしなければならなくなったタイミング、あるいは、デッキの一番上のカードを見たりめくったりするような指示があったタイミングです。単にデッキがなくなっただけでは作り直しません。

■6. 補足ルール1：そば仕え

●6-1 そば仕え

肩書きに「そば仕えメイド」あるいは「そば仕えメイド長」と記されているメイドカードは、手番プレイヤーの意思により、通常のプレイ方法（【ご奉仕1】を消費して公開し、終了フェイズに捨てる）の他に、「そば仕え」という特別なプレイ方法でプレイすることができます。

こうした「そば仕え」は、次のように実行します。

●6-2 そば仕えの手順

「そば仕えメイド」は、【ご奉仕1】を消費し、「そば仕え」を宣言することで実行することができます。

「そば仕えメイド長」は、【ご奉仕2】を消費し、「そば仕え」を宣言することで実行することができます。

「そば仕え」を実行した「そば仕えメイド」は、自分の家に置きます。こうして家に置かれた「そば仕えメイド」は、ゲーム終了時までそこに残ります。終了フェイズに捨て山に置くことはありません。

●6-3 そば仕えボーナスと終了ボーナス

自分の家に置かれた「そば仕えメイド」は、ゲーム終了時にボーナスとして追加の勝利点をもたらします。それを「そば仕えボーナス」と呼びます。「そば仕えボーナス」は、「そば仕えメイド」がゲーム終了時にデッキに含まれているだけでは、受け取ることはできません（ただし、カードの右上に書かれている通常の勝利点は受け取れます）。

そして、「そば仕えメイド長」は、そのカードが自分の家に置かれていなくても、デッキに含まれているだけで、ゲーム終了時にボーナスとして追加の勝利点をもたらす可能性があります。それを「終了ボーナス」と呼びます。「終了ボーナス」は、ゲーム終了時にカードテキストに書かれている条件を満たしている場合に、追加の勝利点を受け取ります（●9-2参照）。

●6-4 くろめいど『ドミノ・ボナパルト』

本ゲームには、特別な能力をもつ「くろめいど」として『ドミノ・ボナパルト』があります。

『ドミノ』を【ご奉仕1】を消費してプレイしたとき、まず【ドロー+2】と【雇用+1】をボーナスとして得ます。この後、さらに追加の【ご奉仕1】を支払うことで、特別に他のプレイヤーの家へ【そば仕え】させる特殊能力を使うことができます。

こうして他のプレイヤーの家に【そば仕え】させた『ドミノ』は、他のカードの指示や、その家のプレイヤーが『ドミノ』に対して【ご奉仕2】を支払わないかぎり、ゲーム終了時までそこに残ります。

■7. 補足ルール2：専属メイドと建築カード

●7-1 専属メイドと建築の雇用

「専属メイド」と「建築カード」は、他のカードと異なり、手番プレイヤーが【雇用】した際に、捨て山に置くことはありません。

「専属メイド」を【雇用】する際は、「専属メイド」の山札の上から取るのではなく、施設内に公開されている2枚のうち1枚を選んで受け取ります。受け取ったあと、ただちに山札の上から1枚めくり、常に2枚の「専属メイド」が公開されているように、補充してください（「専属メイド」の裏向きの山札がなくなったときは補充しません）。

【雇用】した「専属メイド」は、自分の家に表にして置きます。もし、すでに「専属メイド」が家に置かれている場合は、その上に順番に重ねて一つの山にしてください。こうして家に置かれた「専属メイド」は、他のカードで指示されない限り、ゲーム終了時までそこに残ります。

いっぽう、【雇用】した「建築カード」は、自分の家にそれぞれ単独で置きます。本ゲームには、『庭園』『離れ』『百合園』の3種類の「建築カード」があります。

家に置かれた「建築カード」は、他のカードで指示されない限り、ゲーム終了時までそこに残ります。

●7-2 専属メイドの特殊能力

「専属メイド」の特殊能力は、カードテキストに書かれている指示にしたがって、手番中に1回だけ、その特殊能力を適用することができます（このとき、【ご奉仕】は消費しません）。

2枚目以降の「専属メイド」が自分の家に置かれたときは、その下にある「専属メイド」の特殊能力は全て失われます。つまり、「専属メイド」の山の一番上の（最後に【雇用】した）「専属メイド」だけが特殊能力を適用できるのです。

●7-3 専属メイドの『ミカ・ヤクシドー』

本ゲームには、特別な能力をもつ専属メイドとして「くろめいど」の『ミカ・ヤクシドー』があります。

『ミカ』を【雇用】したり、他のカードの特殊能力によって自分の家に置くとき、代わりに他のプレイヤーの「専属メイド」の山の一番上に置くことができます。

こうして他のプレイヤーの家に置かれた『ミカ』は、その家のプレイヤーが【雇用】しているものとして扱います。

■8. プレイの例

ラウールと伯爵とクラリスの3人でプレイしています。今はラウールの手番です。

ラウールの手札は『エミリー』『スズナ』『はあと1』『はあと2』『カリヨン』の5枚です。

開始フェイズになりました。ラウールの家には「専属メイド」がいないため、何もせず開始フェイズを終了させます。

ご奉仕フェイズになりました。ラウールは【ご奉仕1】を受け取り、それを消費して手札の『エミリー』をプレイしました。

この『エミリー』のボーナスによって、ラウールは【ご奉仕+2】と【雇用+1】を受け取ります。

次に、ラウールは、【ご奉仕2】のうち【ご奉仕1】を消費し、手札の『スズナ』の「そば仕え」を実行して自分の家に置きました。

ラウールには、まだ【ご奉仕1】が残っているので、【ご奉仕1】を消費して手札の『カリヨン』をプレイします。

この『カリヨン』のボーナスによって、ラウールは【ドロー+3】を受け取ります。

ラウールは、その【ドロー+3】を即座に消費して自分のデッキから3枚ドローします。3枚のカードは『ライラック』『はあと1』『はあと2』でした。

ラウールは、全ての【ご奉仕】を使い切ってしまったので、これ以上メイドカードをプレイすることができません。

雇用フェイズになりました。ラウールはまず【雇用1】を受け取り、手札の『はあと1』2枚と『はあと2』2枚をプレイしました。ラウールは、ご奉仕フェイズに【雇用+1】を受け取っていましたが、現在【はあと6】と【雇用2】を持っていることになります。

そこで彼は、『エミリー』の特殊能力でコスト-1されている『庭園』1枚を、【はあと3】と【雇用1】を消費して【雇用】しました。そして、ラウールの家に『庭園』が置かれます。

あと【はあと3】と【雇用1】が残っていますので、さらに『フェリシティー』1枚を【雇用】し、自分の捨て山に『フェリシティー』を移します。

彼はこれ以上【雇用】することができないため、雇用フェイズを終了させます。

終了フェイズになりました。彼はさきほどプレイした『エミリー』と『カリヨン』、『はあと1』2枚と『はあと2』2枚を捨て山に移します。また、このときプレイせずに手札に残っていた手札1枚(『ライラック』が1枚です)も捨て山に置きます。

「そば仕え」した『スズナ』と、「建築カード」の『庭園』は自分の家に置いたままにしておきます。

最後に、ラウールはデッキの上から5枚ドロし、新たな手札とします。

これでラウールの手番は終了です。手番は、ラウールの左隣にいる伯爵に移り、ゲームは進行していきます。

■9. ゲームの終了と勝利

●9-1 ゲームの終了

施設にあるメイドカードの山札が2つなくなったとき、ただちにゲームは終了します。

ゲーム終了後、各プレイヤーはそれぞれ自分の勝利点(VP)の集計を次項に従って実行し、合計勝利点を計算して発表します。

合計勝利点が一番多かったプレイヤーがゲームに勝利します。

複数のプレイヤーが同点だった場合、それらのプレイヤーは勝利点のないメイドカードの枚数を数え、それを最も多く持っていたプレイヤーが勝利となります。それも同じだった場合は、そのプレイヤー同士で勝利を分かち合います。

あなたは“最高のご主人様”に選ばれたのです！

●9-2 勝利点の計算

まず、ゲーム終了時に自分の家に置いてあるカードの中から、「そば仕えボーナス」を持っていないカードを集め、それらに自分のデッキのカードと捨て山のカード全てをひとまとめにし、計算のための手札とします。

次の各項目に沿ってVP計算を行っていきます。

9-2-1 そば仕えボーナス

自分の家に「そば仕え」しているメイドカードを集め、「そば仕えボーナス」が適用されるかどうかを判定し、VP計算をしてください。

9-2-2 手札にある建築カードによるVPと終了ボーナス

手札にある建築カードのVP計算をしてください。

9-2-3 手札にあるメイドカード3種によるVPと終了ボーナス

手札にある「メイド長」「一般メイド」「専属メイド」でVPをもっているカードを抜き出し、それぞれのカードを確認して、VP計算をしてください。

■10. その他の推奨ルール

この章では、おすすめしている遊び方をご紹介します。

●10-1 2人で遊ぶ場合

終了条件は変えることなく、ゲーム開始前に「メイド長」と「一般メイド」と「建築カード」をそれぞれ3枚ずつ取り除いてゲームを行います。これにより、スピーディーなゲームを味わうことができます。

●10-2 「たんとくおーれ」と本ゲームの カードを混ぜて遊ぶ場合

「たんとくおーれ」と「たんとくおーれ～増築開始♪～」を持っている場合、これらを混ぜて遊ぶことができます。

10-2-1 ゲームの準備

まず、「たんとくおーれ」の「イベントカード」2種類(『悪癖』『病気』)と本ゲームの「建築カード」3種類(『庭園』『離れ』『百合園』)をそれぞれひとまとめにして表向きの山札とし、横に並べます。

次に「たんとくおーれ」の「メイド長」2種類(『マリアン』『コレット』)、もしくは、本ゲームの「メイド長」2種類(『クロディーヌ』『アリーヌ』)のどちらかを選んで、それらをカードごとにひとまとめにして表向きの山札とし、上記の山札の手前に並べます。

続いて、その隣に「たんとくおーれ」と本ゲームの「専属メイド」19種類をひとまとめにしてシャッフルし、「メイド長」の右側に、裏向きの山札として配置します。それから、「専属メイド」の山札の上から2枚めくって、それらを「専属メイド」の山札の横に表向きで並べます。

そして、10種類の「一般メイド」の山札を表向きで5山×2列にして作り、「イベントカード」と「建築カード」の手前に並べます

「たんとくおーれ」の「一般メイド」16種類と本ゲームの「一般メイド」16種類の中から10種類を選んで使用します。使用する「一般メイド」の種類は、任意に選んでも、ランダムに選んでもかまいません。

最後に、「たんとくおーれ」の「はあとカード」3種類、もしくは、本ゲームの「はあとカード」3種類のどちらかを選んで、それらをカードごとにひとまとめにして表向きの山札とし、「メイド長」と「一般メイド」の山札の左側に縦に並べます。

これで施設の山札の準備は終了です。

ゲームの終了条件はそのまま、施設にあるメイドカードの山札(「メイド長」「一般メイド」の表向きの山札と「専属メイド」の裏向きの山札)のうち2つの山札が枯渇したとき、ただちにゲームは終了します。

10-2-2 5人以上で遊ぶ場合

「たんとくおーれ」と本ゲームのカードを混ぜて遊ぶ場合、5人以上で遊ぶことができます。

その場合は「たんとくおーれ」の「はあとカード」3種類と本ゲームの「はあとカード」3種類を両方使用します(ゲームの準備は●10-2-1参照)。

また、ゲームの終了条件は、施設にあるメイドカードの山札(「メイド長」「一般メイド」の表向きの山札と「専属メイド」の裏向きの山札)のうち3つの山札が枯渇したとき、ただちにゲームは終了します。

●10-3 ゲーム中のその他のルール

各プレイヤーはゲーム中に「各プレイヤーのデッキの残り枚数」「施設にある各山札の残り枚数」「各プレイヤーの家に置かれている表向きのカード」を確認することができます。

ただし、「各プレイヤーの捨て山にあるカード」は捨て山の一番上にあるカードを除き、枚数や内容を確認しないことをおすすめします。

●10-4 説明書に載っていないその他のルール

「たんとくおーれ」の説明書、および、「たんとくおーれ ～増築開始♪～」の説明書に載っていない、その他のルールについては公式サイトのFAQを参照ください。

たんとくおーれ オフィシャルホームページ

URL:<http://www.arclight.co.jp/tc/>

■ 11. カードの一覧と解説

● 11-1 メイド長



クローディーヌ・ド・ラ・ロシェル (8枚)

VP: 5

解説:本ゲームを象徴するカードです。プレイヤーは、ゲーム終了時に雇用している『クローディーヌ』1枚につき5VPを得ます。



アリーヌ・デュ・ロワ (24枚)

VP: 1

[そば仕え⇒【ご奉仕-2】]

解説:手番プレイヤーは、【ご奉仕2】を消費して『アリーヌ』をプレイすると、「そば仕え」を実行することができます。そうした場合、ゲーム終了時まで『アリーヌ』は自分の家に置かれたままの状態になります。

● 11-2 一般メイド



ティファニー・ワイズ (8枚)

VP: 2

【はあと+3】

あなたの家の専属メイドの山の一番上にある専属メイドカード1枚と施設にある表向き専属メイドカード1枚を交換してもよい(戻すカードは専属メイドの山札の底に裏向きにして置く)。

解説:施設で表向きになっている専属メイド2枚のうちどちらか1枚を選んで交換することができます。



カリヨン・ファンドール (10枚)

【ドロー+3】



フランシーン・バルビエ (10枚)

【ご奉仕+2】

あなたの手札にある『はあと2』2枚を施設にあるメイド長カード1枚と交換してもよい。

解説：『はあと2』が4枚あっても、『フランシーン』の特殊能力1回で交換できるメイド長カードは1枚だけです。



レネ・R・リュセック (10枚)

【ドロー+2】【ご奉仕+1】

あなたの手札が6枚以上だった場合、あなたの手札にあるカード1枚をデッキの一番上に戻す。

解説：『レネ』のボーナス【ドロー+2】でカードを引いた後に手札が6枚以上ある場合は、手札から1枚選んでデッキの一番上に戻さなければなりません。



ドミノ・ボナパルト (10枚)

VP：X

【ドロー+2】【雇用+1】

ご奉仕のとき追加で【ご奉仕-1】することで、このカードを任意の家にそば仕えさせてもよい。

—— 雇用フェイズ中 ——

このカードを家から施設に戻す⇒【ご奉仕-2】

—— そば仕えボーナス：『ドミノ』 ——

1枚⇒-2VP

解説：手番プレイヤーは【ご奉仕1】を消費して『ドミノ』をプレイし、【ご奉仕】させた後、さらに追加の【ご奉仕1】を消費すれば、『ドミノ』を任意の家に置くことができます。こうして置かれた『ドミノ』は、その家のプレイヤーが雇用フェイズ中に【ご奉仕2】を消費すれば、そば仕えしている『ドミノ』を家から施設へ戻すことができます。ゲーム終了時、プレイヤーは自分の家にある『ドミノ』1枚につき-2VPを得ます。



アマレット・ルナール (10枚)

この手番中、『はあと2』は雇用コスト2のカードとして、『はあと3』は雇用コスト4のカードとして扱う。

解説：『アマレット』は、山札や手札にある『はあと2』と『はあと3』にも特殊能力が適用されます。『アマレット』をプレイした後に、『ライラック』をプレイした場合、『はあと3』も選ぶことができます。



ヴィクトリア・カルデラン (10 枚)

【はあと+2】

あなたと他のプレイヤー1人のデッキの一番上にあるカードを捨てる。あなたのカードの雇用コストが相手のカードの雇用コストより2以上大きかった場合、相手の家にある建築カード1枚を施設に戻してもよい。

解説:デッキの一番上にあるカードを捨てさせる相手として、あなたが他のプレイヤーの中から1人を選び、『ヴィクトリア』の特殊能力を適用します。



エミリー・レイモンド (10 枚)

【ご奉仕+2】【雇用+1】

この手番中、建築カードの雇用コストは-1される(ただし、雇用コスト0にはならない)。

解説:『エミリー』を複数枚プレイすれば、その枚数分、建築カードの雇用コストが-1されていきます。ただし、雇用コストは0やマイナスにはなりません。



ルチル・デル=サール (10 枚)

任意のデッキの一番上にあるカードを捨てて、そのカードに応じたボーナスを得る。

はあとカード⇒【はあと+2】

一般メイドカード⇒【ご奉仕+2】

メイド長カード⇒【ドロ-+2】



フィリス・ラムレイ (10 枚)

【はあと+2】

自分のデッキの一番上にあるカードを捨ててもよい。そのカードが雇用コスト5以上のカードだった場合、追加で【はあと+1】を得る。

解説:捨てたカードが雇用コスト5以上だった場合、【はあと+2】と【はあと+1】を合わせた【はあと+3】を得ます。



ライラック・ホークウインド (10枚)

全てのプレイヤーのデッキの一番上にあるカードを捨てる。その後、あなたは施設にある雇用コスト4以下のはあとカードかメイドカード1枚を自分のデッキの一番上に置く。

解説：『アマレット』をプレイした後に、『ライラック』をプレイした場合、『はあと3』も選ぶことができます。



フェリシティー・ホーン (10枚)

【はあと+1】

あなたの手札にある「肩書き：そば仕えメイド長」1枚をそば仕えさせてもよい。

[そば仕え⇒【ご奉仕-1】]

—— そば仕えボーナス：『フェリシティー』 ——

4枚⇒12VP / 3枚⇒8VP / 2枚⇒4VP

解説：手番プレイヤーは【ご奉仕1】を消費して『フェリシティー』をプレイし、【ご奉仕】させるか、「そば仕え」させるかを宣言します。【ご奉仕】を宣言した場合、ボーナスで【はあと+1】を得て、『フェリシティー』の特殊能力で【ご奉仕-2】せずに、自分の手札にある肩書きが「そば仕えメイド長」のカード1枚をそば仕えさせることができます。いっぽう、「そば仕え」を宣言した場合、【ご奉仕】させたときのボーナスや特殊能力は適用せず、『フェリシティー』を自分の家に置きます。ゲーム終了時、プレイヤーは自分の家に『フェリシティー』が2枚以上置いていれば、1セットごとにVPを得ることができます。2枚だった場合は4VP、3枚だった場合は8VP、4枚だった場合は12VPを得ます。



スズナ・カミカワ (10枚)

VP：1

【ドロー+1】【ご奉仕+1】

[そば仕え⇒【ご奉仕-1】]

—— そば仕えボーナス：『スズナ』 ——

3枚⇒5VP

解説：手番プレイヤーは【ご奉仕1】を消費して『スズナ』をプレイし、【ご奉仕】させるか、「そば仕え」させるかを宣言します。「そば仕え」を宣言した場合、【ご奉仕】させたときのボーナスや特殊能力は適用せず、『スズナ』を自分の家に置きます。ゲーム終了時、プレイヤーは自分の家に『スズナ』が3枚置いていれば、1セットごとに5VPを得ることができます。また、『スズナ』を6枚置いていた場合は、2セット分として5VPと5VPで合わせて10VPを得ます。



グレイス・ソールズベリ (10 枚)

【はあと+1】

施設にある雇用コスト3以下のメイドカード1枚を、任意のプレイヤーの捨て山に置いてもよい。



ポーリーヌ・デュモン (10 枚)

【ご奉仕+1】

あなたは手札から同名のカード2枚を捨ててもよい。そうした場合、【ドロー+3】を得る。

解説：『ポーリーヌ』は、手札に同名カードが4枚あったとしても、1枚の『ポーリーヌ』で同名カード2枚しか捨てることができません。



リリコ・ヒイラギ (10 枚)

VP: 1

【はあと+1】

[そば仕え⇒【ご奉仕-1】]

—— そば仕えボーナス ——

あなたの手番中、『百合園』を雇用コスト5のカードとして扱ってもよい。

解説：『リリコ』をそば仕えしている間は、『百合園』を雇用コスト5として雇用することができ、『エミリー』の特殊能力と併せて、さらに雇用コストを少なくすることができます。ただし、複数枚『リリコ』をそば仕えさせていても、『リリコ』の特殊能力は累積しません。

● 11-3 専属メイド



クリームヌ・シルベストリ (1枚)

VP: 4

解説:『クリームヌ』の肩書きは「専属メイド長」ですが、メイド長カードではありません。



ミカ・ヤクシドー (1枚)

VP: -2

このカードは任意の家に置くことができる。

—— あなたの開始フェイズ ——

あなたは手札から『はあと1』1枚を捨てる。それができなかった場合、手札を公開し、『ミカ』を施設に戻す(専属メイドの山札の底に裏向きにして置く)。

解説:『ミカ』を【雇用】したり、他のカードの特殊能力によって自分の家に置くとき、代わりに他のプレイヤーの「専属メイド」の山の一番上に置くことができます。『ミカ』が置かれているプレイヤーは、開始フェイズに自分の手札から『はあと1』を捨てなければなりません。



コートニー・ジュエル (1枚)

VP: 1

—— あなたの開始フェイズ ——

あなたは【ご奉仕+1】を得る。

—— ゲーム終了時 ——

あなたは『オーレリー』を雇用していた場合、追加で4VPを得る。

解説:『コートニー』と『オーレリー』を雇用していた場合、2枚合わせて10VPを得ます。



オーレリー・ランベール (1枚)

VP: 1

—— あなたの開始フェイズ ——

あなたは【ドロー+1】を得る。

—— ゲーム終了時 ——

あなたは『コートニー』を雇用していた場合、追加で4VPを得る。

解説:『コートニー』と『オーレリー』を雇用していた場合、2枚合わせて10VPを得ます。



ロアン・シラズ (1枚)

—— あなたの開始フェイズ ——

あなたは手札から『はあと2』を1枚捨ててもよい。そうした場合、【ドロー+3】を得る。

解説:ご奉仕フェイズに【ご奉仕】させてから、この特殊能力を使うということはいけません。



シオン・ツブキ (1枚)

VP: 1

—— あなたの開始フェイズ ——

あなたは手札を全て捨ててもよい。そうした場合、【ドロー+5】を得る。

解説:ご奉仕フェイズに【ご奉仕】させてから、この特殊能力を使うということはいけません。



クリスタ・アンティーブ (1枚)

—— あなたの開始フェイズ ——

あなたは手札からメイド長カード1枚を捨ててもよい。そうした場合、【ドロー+2】を得る。

解説:ご奉仕フェイズに【ご奉仕】させてから、この特殊能力を使うということはいけません。



イーヴ・ヴァレンタイン (1枚)

VP: 1

—— あなたの開始フェイズ ——

あなたは【雇用+1】を得る。



シルク・アマノハラ (1枚)

—— あなたの開始フェイズ ——

あなたの家に建築カードが3枚以上ある場合、【ドロー+1】を受け取ってもよい。

解説:建築カードが6枚あっても、【ドロー+1】しか得ることができません。

● 11-4 建築



百合園 (8枚)

VP: 4

あなたの家にある『百合園』の枚数が、『庭園』とそば仕えしている『リリコ』の合計枚数以上の場合、あなたは『百合園』を新たに雇用することができない。

解説:『百合園』を雇用するためには、『庭園』を雇用しておくか、『リリコ』をそば仕えさせておく必要があります。また、他のカードの指示などで、あなたの家にある『庭園』や『リリコ』の枚数が『百合園』の枚数より少なくなってしまう場合、『百合園』を減らす必要はありませんが、新たに『百合園』を雇用することができなくなります。



離れ (8枚)

VP: 2

あなたの手札にあるメイド長カード1枚をこのカードの下に置くことができなければ、あなたは『離れ』を雇用することができない。

このカードの下にあるメイド長カードには、イベントカードを置くことができない。

解説:『離れ』は『アリーヌ』だけでなく、『クロディーヌ』や「たんとくおーれ」の『マリアン』『コレット』を手札から『離れ』の下に置くことができます。また、他のカードの指示などで『離れ』が施設に戻ってしまった場合、下に重なっていたメイド長カードは施設に戻すのではなく、自分の捨て山に置かれます。



庭園 (8枚)

VP: 1

あなたの家にある『庭園』が4枚以上の間、この家にイベントカードを新たに置くことができない。

解説:『庭園』は「たんとくおーれ」と混ぜて遊んだときに影響を及ぼす特殊能力を持っています。

